

懲戒処分を受けた教員に対する標準対応例

(国際総合科学群)

教育現場および研究場所の安全安心な環境確保のため、懲戒処分を受けた教員に対し、その内容に応じ国際総合科学群長（以下、学群長）は、理事長に報告の上必要に応じ以下の措置をとるものとする。

1. 当該事案に対する本人の改善を判断するための措置
また、改善が判断されるまでの間については、
2. 研究室・ゼミ配属学生の一時的避難および指導教員の変更
3. 当該教員の担当する科目の単位認定権の差し止めおよび指導教員の変更
4. 学外共同研究の自粛および辞退勧告
5. 学内共同研究の自粛および辞退勧告
6. 学生の自主研究指導の停止および指導教員の変更
7. 高大連携および地域貢献活動の自粛および辞退勧告
8. 兼職の自粛および辞退勧告
9. その他、学群長が必要と判断した措置

この措置の決定に際し、学群長は、当該の系列長、研究科長、学部長、学務・教務部長、研究推進部長、企画総務部長等から意見を聞くこととする。